



# Micro ダイレクトボンディングハンズオン2日間コース

近年、接着の進歩と物性の向上、充填技術の普及により、ダイレクトボンディングの適応範囲が広がっています。前歯はもちろん、臼歯でもある程度の大きさまでは十分行えるようになりました。しかし、う蝕修復治療の知識とスキルが足りなければ、Longevityを叶えることは困難です。

**このコースではマイクロスコープを用いることで、「接着」と「精度」を最高レベルまで高め、Repeated restoration cycleを止め、ほぼ天然歯に戻すテクニックを教えます。**

日常臨床で数多く遭遇する隣接面う蝕について、診査診断からう蝕予防システム、コンサル、治療技術まで深く深く追究します。実習は1人1台のマイクロスコープを使い、個別スキルに合わせた指導を行います。自費ダイレクトボンディングを日常化できれば、経営の基盤になるだけでなく、毎日のう蝕修復診療が楽しくなり、充実した歯科医師ライフを過ごせます。受講生4人と講師2人の超濃密な時間をお約束します。

## 世界一精密な最強CR修復スキルと

## 自費CR10症例/月コンサルシステムを学ぶ

第11期

2023年

5月20日 (土)

14:00~19:00

21日 (日)

9:00~16:00

### 講師

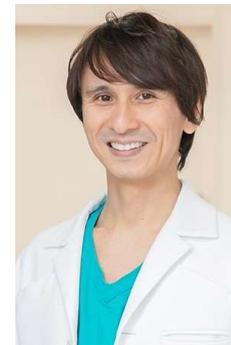


樋口 惣

日本顕微鏡歯科学会 認定医

樋口塾 主宰

FLAT 代表

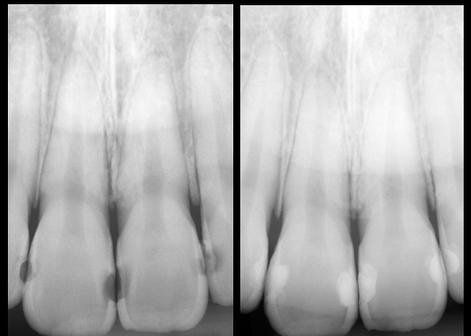


木南 意澄

日本顕微鏡歯科学会 認定医

OJ 正会員

「自費歯医者 の 作り方」 主宰

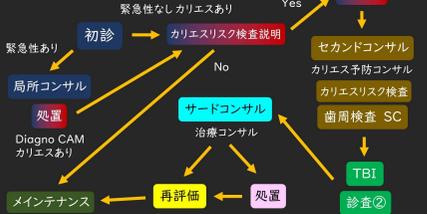


隣接面う蝕の診査方法一覧 No Evidence ,but only Experience

	感度	特異度	コメント
問診	低い	そこそこ高い	う蝕が大きければ非常に参考になるし、介入必要の確定診断になる。しかし、う蝕が小さいときはあまり参考にならない
視診 SCAN	低い	高い	
パノラマ	やや高い	低い	
ダイアグノカム	85%	90%	エナメル質の厚さだけから判別しないのでスクリーニングに向く
X-ray(D)	75%	95%	咬翼法でも精度は低いため、ゴールドスタンダードだけれだけだけでは不安
視診 特定歯	80%	99%	深さかわからないが特異度は最も高い。患者へのわかりやすさはNo.
CT	90%	95%	判別の問題があるが、精度は最も高い？全面が入っていると考えにくい場合がある

様々な診査で介入、管理、そして、ゴール設定の診断をする

当院のシステム



あなたは自分の歯をあと何年使わなければならないか？



ダイレクトボンディング月5症例を  
確実に出すシステム作りから始める



## コンテンツ

### 講義

- ① う蝕治療の診査・診断、治療介入の基準
- ② 自費にするためのCR修復治療の流れ「本当の自費CR」
- ③ 確実に月5症例を契約するためのコンサルシステム
- ④ アイボリー型セパレーターを用いたKyu-Shuテクニック  
実習（すべてマイクロスコープ下）

- ① 前歯Ⅲ級窩洞CR修復
- ② 臼歯Ⅱ級窩洞CR修復

※講義スライドおよび動画、コンサルスライド（Power Point）を  
すべてデータでお渡しします

## 定員

歯科医師 4名 **アシスタント各1名帯同を推奨します**  
コンサルシステムやラバーダム、アシスタントワークを教えます  
自費CRシステム導入には是非、スタッフに力を貸してもらって下さい

## 受講費

250,000円（税込み）

## 場所

樋口歯科 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル4階

## 申込方法

何らかの形で樋口か木南まで受講の意志をご連絡ください  
その後、受講費を振り込んでいただきます

## 講師連絡先

ikominami@gmail.com Tel. 090-3017-1550

## 受講費振込先

福岡銀行 けやき通り支店 普通 453051  
株式会社Snow Dent 代表取締役 木南 由希子  
(振込元が分かりやすいようご配慮ください)

